

井原委員（広志会）

令和4年3月8日
教育長答弁実録
（教育委員会）

（問）ICT活用のための共通的なモデルの提示について

ICTを活用した教育における教員の指導スキルについて質問したが、基本形を全体に示すべきではないか。

（答）

多くの県立学校では、授業の目標に対する生徒の習熟の程度を評価するために、学習用クラウドサービスを活用して確認テスト等を実施しております。

こうした生徒の習熟度を評価する仕組みは、教員にとっては、データの収集・蓄積・分析の負担が軽減され、その時間を子供たちへの指導の時間に充てることができ、生徒にとっては、テストの結果が即座にフィードバックされ、理解の程度に応じて次の学習に向かうことができるという利点の発揮につながっているものと考えており、今後とも好事例を共有してまいります。

市町立の小・中学校におきましても、一人1台の端末を活用した自己評価や、確認テストを実施し、即座に集約してフィードバックしている学校もあり、今後、その紹介などを行ってまいります。